

労災疾病等医学研究普及サイトのご案内
作業関連疾患「作業関連疾患（労働者の健康支援）」について

当機構では、労働災害の発生状況や行政のニーズを踏まえ、労働補償政策上重要なテーマや新たな政策課題について、時宜に応じた研究に取り組んでいます。「労災疾病等医学研究普及サイト」では、現在実施している9テーマの研究紹介に加え、これまで実施してきた研究成果についても掲載しています。

その中から作業関連疾患「手根管症候群患者と作業内容（種類や期間など）との関連に関する研究」に関する研究についてご紹介します。

詳しくは→<http://www.research.johas.go.jp/sagyou/index.html>

「手根管症候群」は手の過度の使用により、手根管が圧迫され、手がしびれる・運動障害を来すなどといった症状が起こる病気です。「手根管症候群」は「上肢障害」の一つに分類され、この「上肢障害」は上肢を酷使することの多い介護・看護・保育の分野の仕事で起きやすいとされてきました。しかし、「手根管症候群」はパソコンを使う仕事であれば、どの分野の仕事でも発生し得るため、多くの労働者によって身近な危険要因と言えます。

本研究では、74手55例の症例を収集し、手根管症候群調査票の作成、Quick DASHの聴取、神経伝導速度測定を実施しました。

詳細については、当サイトをご確認ください。

<http://www.research.johas.go.jp/sagyou/index.html>